

外部評価報告書

平成29年度 明正幼稚園 外部評価報告書
外部評価委員：押田 まり子委員、谷島 豊委員、河野 祥多委員、西村 和加子委員、 水野 美紀子委員 報告書作成者：牧山 弘美
評価時期 平成30年 2月
1 重点目標の評価 <u>重点目標1 「健康教育の推進」について</u> この目標の具現化のため、「挨拶や返事を進んで行う」「遊びの中で体を動かすことを楽しむ」「栽培活動を通して野菜の生長や収穫を楽しみにし、みんなでたべることを楽しむ」ことを中心に教育活動に取り組んだ。 明正幼稚園も併設小学校と同様に子どもたちが元気よく挨拶をしている。 園内研究会で園庭環境を見直して工夫したことで、子どもたちはたくさん体を動かす遊びをしている。今後も効果的な活用をしていくとよい。 行事を通して食育活動に取り組んだり、小学校の栄養士の力を借りて子どもや保護者に食育の大切さを伝えたりしてきた。また、プランターを利用して栽培、収穫、会食等の活動が経験できている。保護者にも理解を促し、家庭でも協力にしてもらえるよう、情報発信を工夫するとよい。 <u>重点目標2 「意欲を育む遊びの充実」について</u> この目標の具現化のため、「幼稚園生活を楽しみに登園する」「教師や友達と一緒に遊ぶ中で、様々な感情体験を味わいながら遊ぶことを楽しむ」「身近な自然に興味をもって触れ合う」ことを中心に取り組んだ。 子どもたちは、様々な体験を通して幼稚園という場で成長している。子どもの育ちを支えている先生方の良さをぜひ、ほめながら先生方も自信をもって取り組んでもらいたい。そのために、保護者は先生方を支えていく必要がある。 自然環境が少ない中で先生方が公園の落ち葉を利用したり、プランターを使った植物の栽培をしたり環境の工夫をたくさんしている。今後も引き続き取り組んでいただきたい。 <u>重点目標3 「保護者への教育内容の理解の促進」について</u> この目標の具現化のため、「毎日の送り迎えの時に挨拶を交わしたり、わいわいサロンや園行事、PTA活動に参加したりすることは、保護者同士・保護者と教員が気軽に声を掛け合える」「園便り、クラス便り、ホームページ、学級懇談会、個人面談等の話は、園の様子を知る機会になる」ことを中心に取り組んだ。園児数が増えており、来年度は、100名を超えることが予測される。様々な価値観の保護者が増えているので、行事もこれまでとは同じような取り組み方は難しくなってくると思われる。幼稚園が変わっていく時期であるが、園の教育活動を通して子どもたちのために保護者同士がつながりを深めてほしい。 2 今後の改善に向けた意見 ・保護者向けアンケートの結果から、幼稚園が工夫している教育活動が伝わるように工夫してもらいたい。

